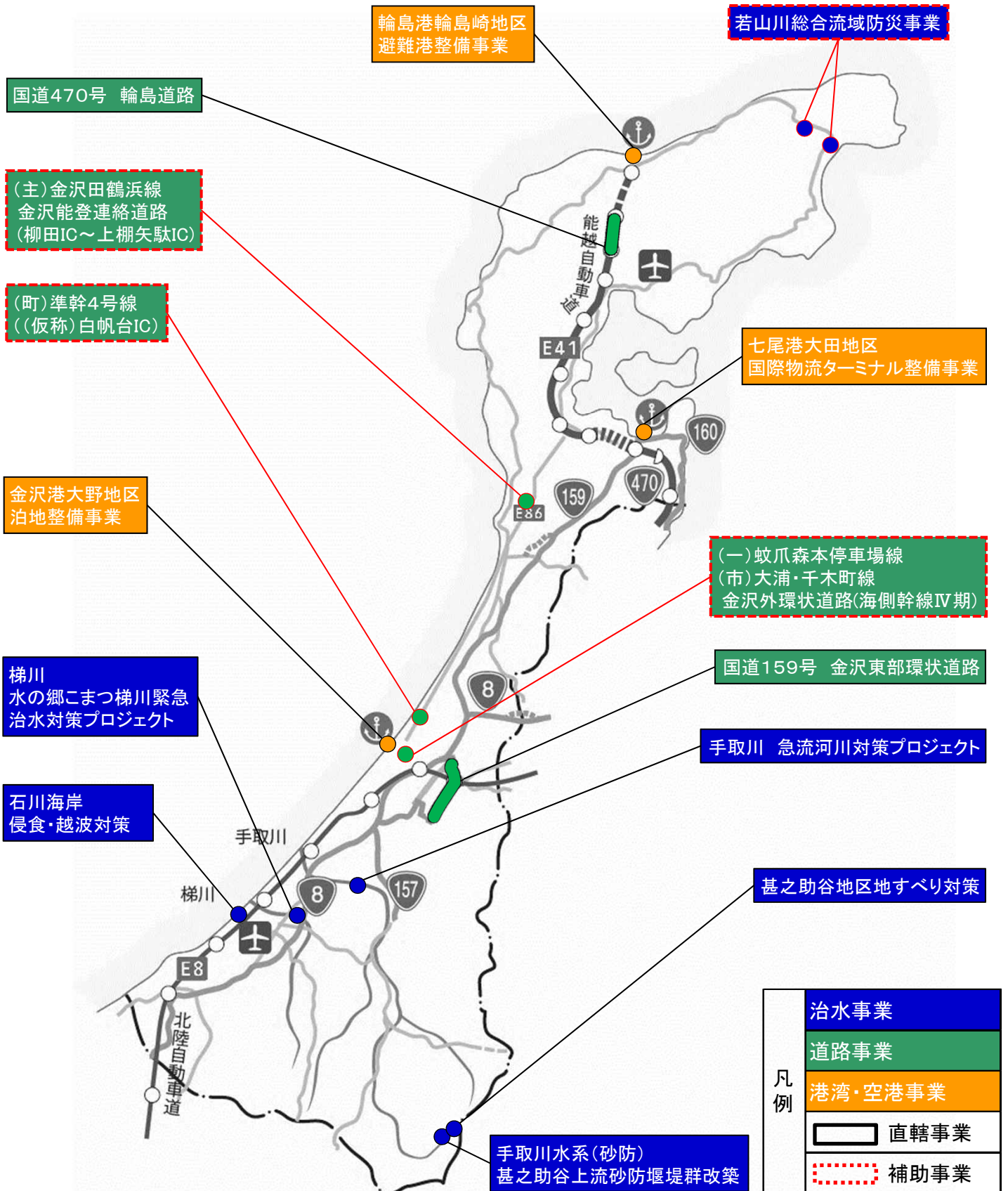


石川県内の主要事業



てどりがわ
手取川 急流河川対策 の推進
いしかわ の み かわきたまち
石川県能美郡川北町

R1補正事業費
160百万円※1

※1:手取川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

てどりがわ ほくさん の み かわきたまち
手取川は、白山市・能美市・川北町を貫流する急流河川であり、洪水時の流水エネルギーが非常に大きいため河岸の洗掘や侵食による堤防の決壊が懸念されます。また、ひとたび氾濫すると広範囲に甚大な被害が発生する恐れがあります。

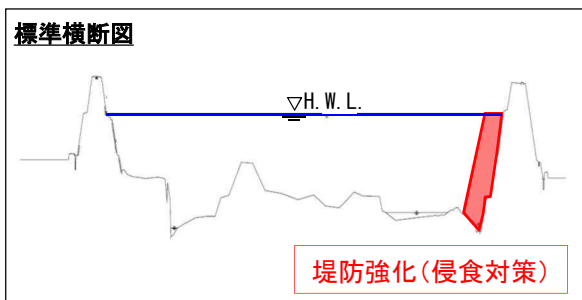
このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生危険性の高い区域等において、洪水対策として、堤防強化（侵食対策）を推進します。

整備効果

てどりがわ
堤防強化（侵食対策）を推進することで、手取川流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、三反田地区の堤防強化（侵食対策）を推進します。



かけはしがわ
梯川
さと
かけはしがわ
水の郷こまつ**梯川治水対策** の推進
いしかわ こまつ
石川県小松市

R1補正事業費
600百万円※1

※1: 梯川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

かけはしがわ
梯川では近年出水が頻発し、特に平成29年に氾濫危険水位を2回超過、平成30年も避難判断水位を超過し、避難勧告が発令されるなど水害のリスクが高い河川であります。近年の出水状況を踏まえ、平成30年度より洪水時の水位上昇が特に著しい白江大橋（河口より6km）から荒木田大橋（河口より9km）までの一連区間について重点的に河川改修を進めています。

このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生の危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防整備を推進します。

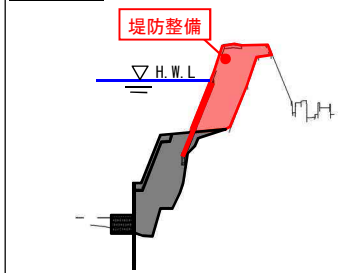
整備効果

かけはしがわ
堤防整備を推進することで、梯川流域の治水安全度を向上させます。

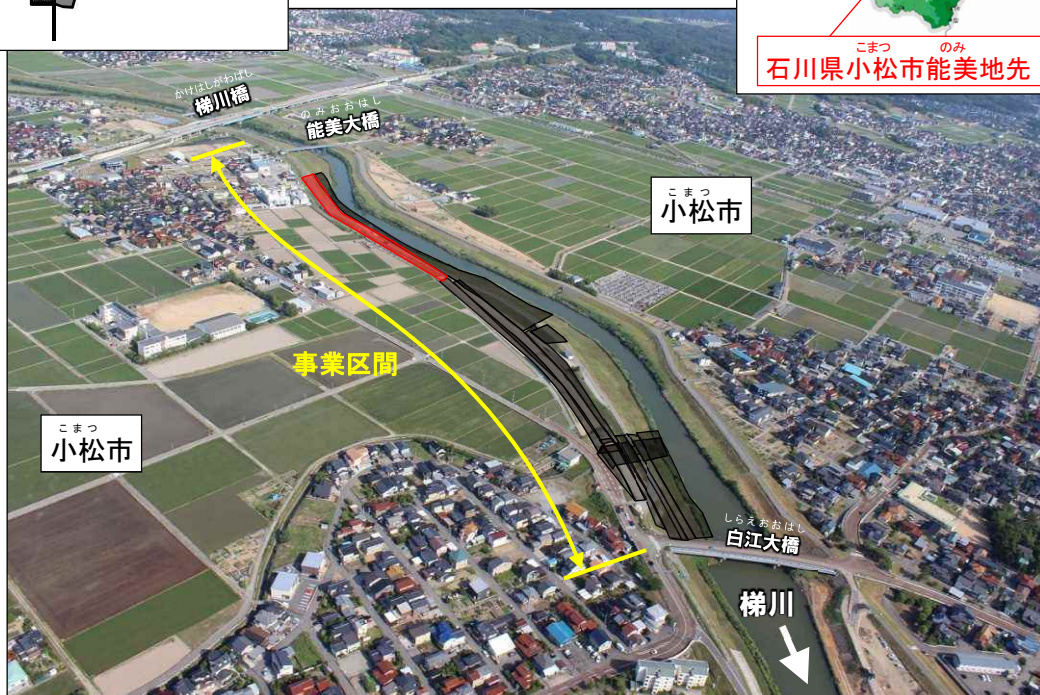
令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、能美地区の堤防整備を推進します。

標準断面図



位置図



てどりがわ
手取川水系直轄砂防事業の推進
 いしかわ はくさん じんのすけだに
石川県白山市（甚之助谷上流砂防堰堤群改築）

R1補正事業費
210百万円

事業の概要

手取川水系の牛首川上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。このため、甚之助谷上流砂防堰堤群改築として、砂防堰堤としての機能を維持するだけでなく、効果量を増加させ砂防堰堤本体の機能を向上させる嵩上げも含めた改築工事に新規着手することで、土石流となり得る不安定な土砂や土塊の流下を防止し、年間約5万人が訪れる白山登山と観光の要となっている登山道等を保全するとともに、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、牛首川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、登山や観光面での安全性が高まるだけでなく、白山市を始めとした保全対象の安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備に着手します。



下流域の保全対象（白山市）



甚之助谷地区直轄地すべり対策事業の推進

いしかわ へくさん
石川県白山市

R1補正事業費
1,200百万円

事業の概要

甚之助谷地区地すべりは、手取川水系牛首川の最上流部に座する白山の西側斜面に位置し、全国でも例が少ない高山地帯に存在する大規模な地すべり地すべりであり、現在も年間10cmを超える活発な地すべり活動が継続しています。

昭和9年7月に発生した手取川大水害では、甚之助谷に隣接する別当谷で発生した地すべり由来の崩壊土砂が原因で河道が閉塞し、これが決壊してしまったことにより、下流域の沿川一帯で多数の死者・行方不明者が発生しました。

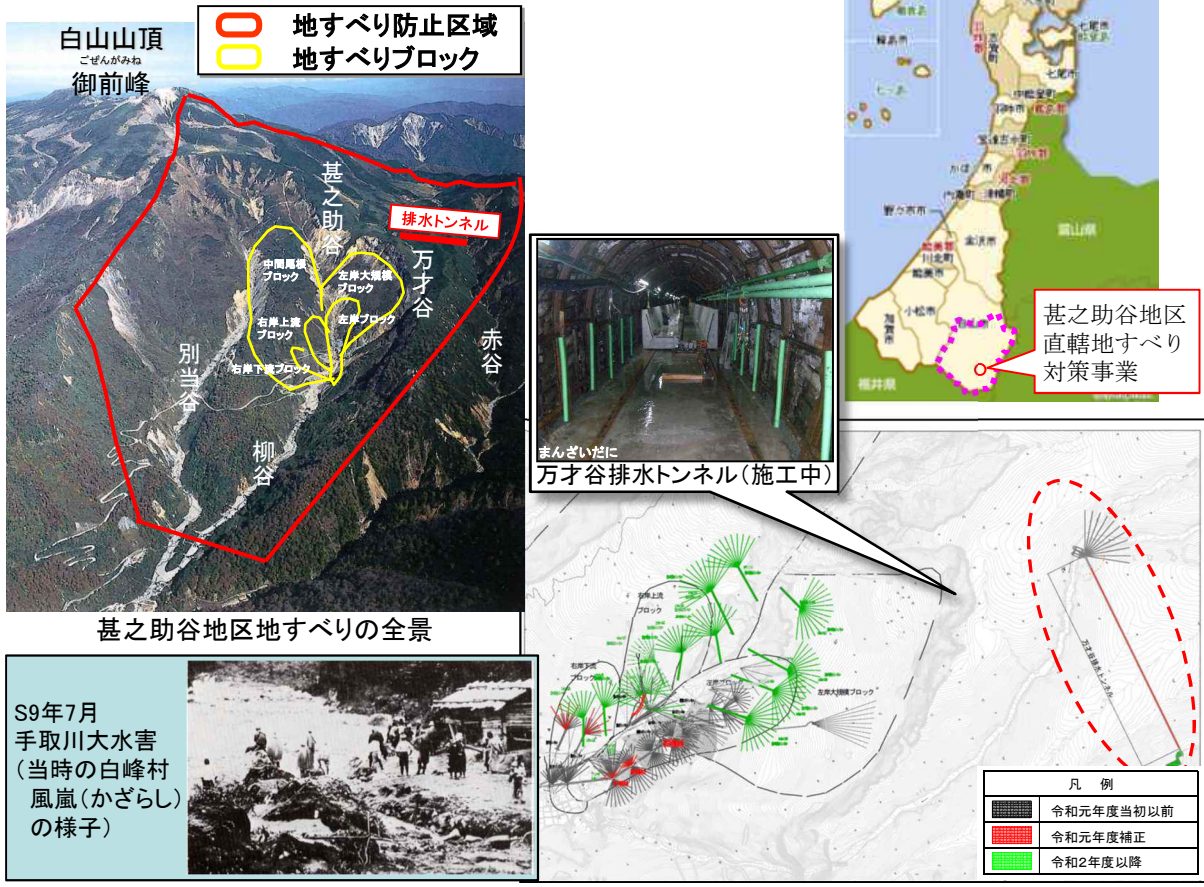
このような大災害の発生を防止するため、甚之助谷地区直轄地すべり対策事業では、集水井や排水トンネル等の各種地すべり対策工事の計画的な実施により地すべり活動を沈静化させることで、地すべりに起因する大規模な土砂流出を抑制します。

整備効果

地すべり対策工の整備により、手取川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、白山市を始めとした下流域の沿川に在る保全対象の安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、地すべり対策工の整備を推進します。



S9年7月
手取川大水害
(当時の白峰村
風嵐(かざらし)
の様子)

石川海岸 侵食・越波対策の推進（小松工区）

いしかわ こまつ
石川県小松市

R1補正事業費
512百万円※1

※1：石川海岸直轄海岸保全施設整備事業のR1補正予算全体事業費

事業の概要

いしかわ こまつ
石川海岸小松工区は侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展が著しく、高波による越波被害が発生すれば地域経済や雇用に大きな影響を与える恐れがあります。

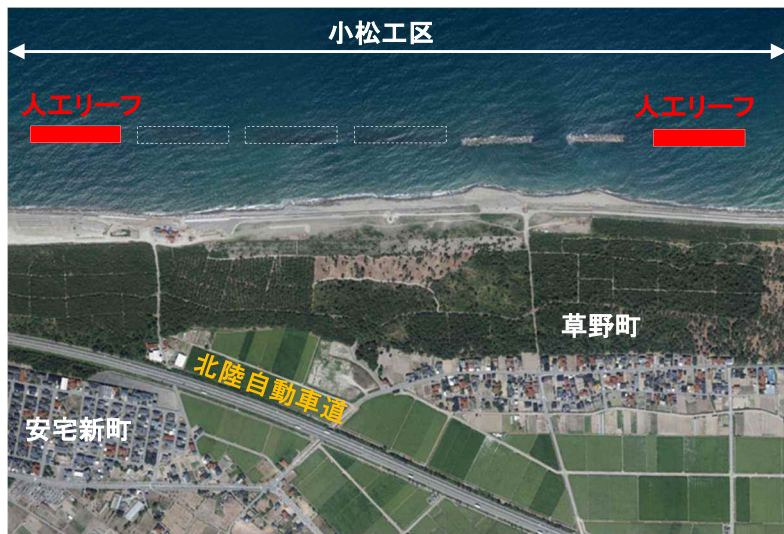
このため、平成16年度から直轄海岸保全施設整備事業に着手し、抜本的な保全対策を推進しています。

整備効果

海岸保全施設整備を実施することにより、侵食対策とともに波の打ち上げ高の低減が図られ、背後地の安全度が向上します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、こまつ小松工区の人エリーフの整備を推進します。



冬季風浪状況(小松工区:平成27年12月)



施設被災状況(小松市安宅地先:平成24年12月)

国道470号 輪島道路事業の推進

いしかわ わじま
石川県輪島市

R1補正事業費
1,000百万円

事業の概要

「能越自動車道」輪島道路は、災害時の緊急輸送路と速達性の確保、高速ネットワーク形成による第三次医療施設へのアクセス性の向上を目的とした、輪島市三井町本江から同市洲衛に至る延長約4.7kmの道路整備事業です。

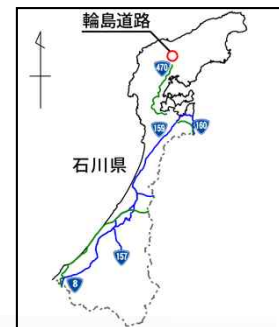
整備効果

- ・高規格幹線道路網の形成、災害に強いネットワークの形成
- ・第三次医療施設へのアクセス向上
- ・アクセス時間の短縮による地域の発展・観光の活性化

令和元年度補正予算の事業内容

現在、輪島道路は令和4年夏までの開通に向け、改良工事及び(仮称)洲衛高架橋上部工事を推進しています。

補正予算の充当により、本江地区の改良工事(盛土)を実施し、令和4年夏までの開通に向けて着実に事業を推進します。



国道159号 ^{かなざわ}金沢東部環状道路事業の推進

^{いしかわ かなざわ}石川県金沢市

R1補正事業費
200百万円

事業の概要

^{かなざわ}金沢東部環状道路は、^{かなざわ}金沢中心部における交通渋滞の緩和を図るとともに、^{ほくりく}北陸自動車道や、の^{さとやまかいどう}と里山海道とあわせた広域的な道路ネットワークの形成を目的とした、^{かなざわ いままち すずみだい}金沢市今町から同市鈴見台に至る延長約9.4kmの道路整備事業です。

整備効果

- ・ 金沢中心部の交通渋滞の緩和
- ・ 広域的な道路ネットワークの形成

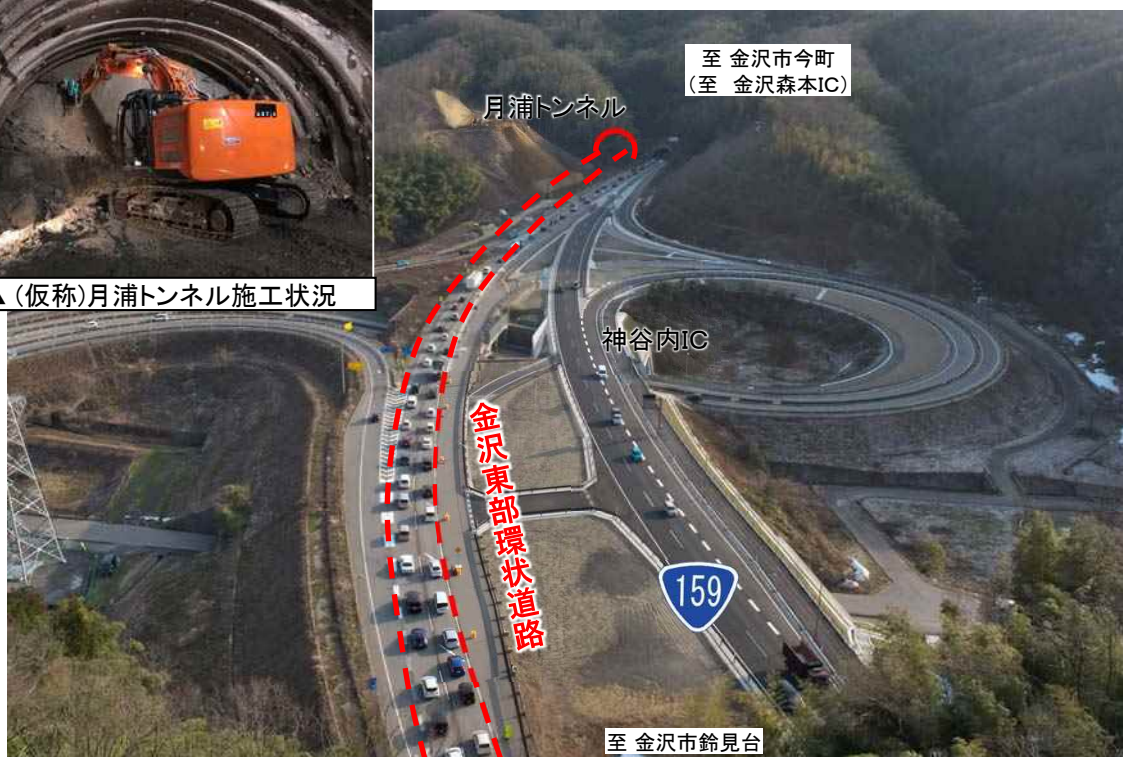
令和元年度補正予算の事業内容

現在、^{かなざわ}金沢東部環状道路では、^{かみやち かなざわもりもと}神谷内IC～金沢森本IC間において、4車線化に向けた（仮称）^{つきうら}月浦トンネル工事を推進しています。

補正予算の充当により、トンネル掘削土を活用する^{かんぼうじ}観法寺地区の改良工事（地盤改良）を実施します。これにより、トンネル工事で発生した掘削土をより確実に盛土に活用することが可能となり、トンネル工事と改良工事（盛土）が円滑に進みます。



▲（仮称）月浦トンネル施工状況



七尾港 大田地区
国際物流ターミナル整備事業の実施

石川県七尾市

R1補正事業費
140百万円

事業の概要

七尾港は背後に地域の主要産業である木材加工産業が集積しており、原材料である原木の供給拠点となっています。木材運搬船の大型化への対応のため、大田地区の物流ターミナルの整備を実施しています。

整備効果

貨物の取扱能力が向上し輸送コストの縮減が図られます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、泊地の整備を実施します。

【位置図】



かなざわ おおの
金沢港 大野地区
泊地整備事業の実施

いしかわ かなざわ
石川県金沢市

R1補正事業費
323百万円

事業の概要

かなざわ おおの
金沢港大野地区の泊地(水深10m)は、供用開始から30年以上が経過し、港内に土砂が堆積していることから、泊地の整備を実施しています。

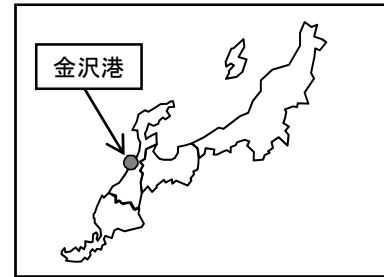
整備効果

泊地の水深が確保され、船舶が安全に利用できるようになります。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、泊地の整備を実施します。

【位置図】



わじま わじまざき
輪島港 輪島崎地区
避難港整備事業の実施

いしかわ わじま
石川県輪島市

R1補正事業費
291百万円

事業の概要

能登半島沖を航行する船舶が荒天時に安全に避難・避泊できる水域を確保するため、防波堤の整備を実施しています。

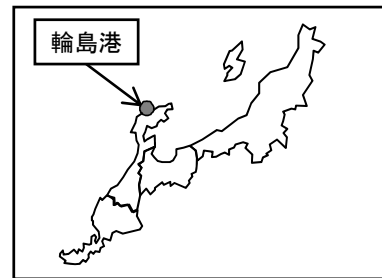
整備効果

港内の静穏度が向上し、荒天時には船舶が安全に避難・避泊できるようになります。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、防波堤の整備を実施します。

【位置図】



わかやまがわ
二級河川若山川 河川改修事業の推進
いしかわ すず
石川県珠洲市

R1補正事業費
150百万円

事業の概要

すず わかやまがわ
珠洲市街地を流れる若山川については、断面が不足し、洪水を安全に流すことのできない狭隘な河道となっています。そのため、洪水を安全に流すことを目的に、河道の完成断面化を進める、河道掘削工、護岸工を計画的に進めています。

整備効果

河道掘削等により流下能力が向上します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、柳橋周辺の河道掘削および、
わかやま のぶたけ だいほう
若山町延武～大坊地内で樹木伐採・河道掘削を推進します。

位置図



[地域高規格道路 ^{かなざわ}金沢外環状道路]

(一) ^{かがつめ もりもと}蚊爪森本停車場線事業

(市) ^{おお 浦}大浦・^{せ ぎ まち}千木町線事業 の推進

^{いしかわ かなざわ}石川県金沢市

R1補正事業費
743百万円

事業の概要

^{かなざわ}金沢外環状道路海側幹線は、山側幹線と一体となって、^{かなざわ}金沢都市圏の外郭を形成し、交通の円滑化を図る極めて重要な幹線道路です。

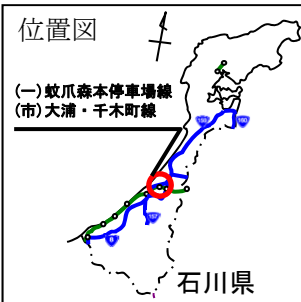
一般県道^{かがつめ もりもと}蚊爪森本停車場線及び市道^{おお 浦}大浦・^{せ ぎ まち}千木町線（^{かなざわ}金沢外環状道路海側幹線IV期）は、海側幹線の一部を構成し、^{かなざわ}金沢都市圏の渋滞緩和及び物流拠点間のアクセス向上、広域交流の促進等に寄与する道路であり、^{かなざわ}金沢市^{お 三 幡 町}大河端町～^{せ ぎ まち}千木町間2.5 kmで事業を推進しています。

整備効果

- ・^{かなざわ}金沢都市圏の交通渋滞の緩和ならびに交通事故の低減
- ・重点港湾^{かなざわ}金沢港へのアクセス向上

令和元年度の事業内容

補正予算の充当により、一般県道^{かがつめ もりもと}蚊爪森本停車場線及び市道^{おお 浦}大浦・^{せ ぎ まち}千木町線における改良工を実施し、早期開通に向けて事業を推進します。



施工状況（^{あさのがわ}浅野川 周辺）

[地域高規格道路 ^{かなざわのと}金沢能登連絡道路]

(主) ^{かなざわ たつるはま}金沢田鶴浜線事業(^{やないだ}柳田IC～ ^{うわだな や だ}上棚矢駄IC)の推進

^{いしかわ}石川県 ^{はくい}羽咋市・ ^{はくい}羽咋郡 ^{しかまち}志賀町

R1補正事業費
723百万円

事業の概要

^{かなざわ たつる はま} 主要地方道金沢田鶴浜線の ^{やないだ} 柳田IC～ ^{うわだな や だ} 上棚矢駄IC間は、現道の交通混雑の緩和や広域交流の促進を目的として、^{はくい} 羽咋市 ^{やないだまち} 柳田町から ^{しかまち} 志賀町 ^{うわだな} 上棚に至る延長約9.6kmの4車線化整備を行う事業です。

整備効果

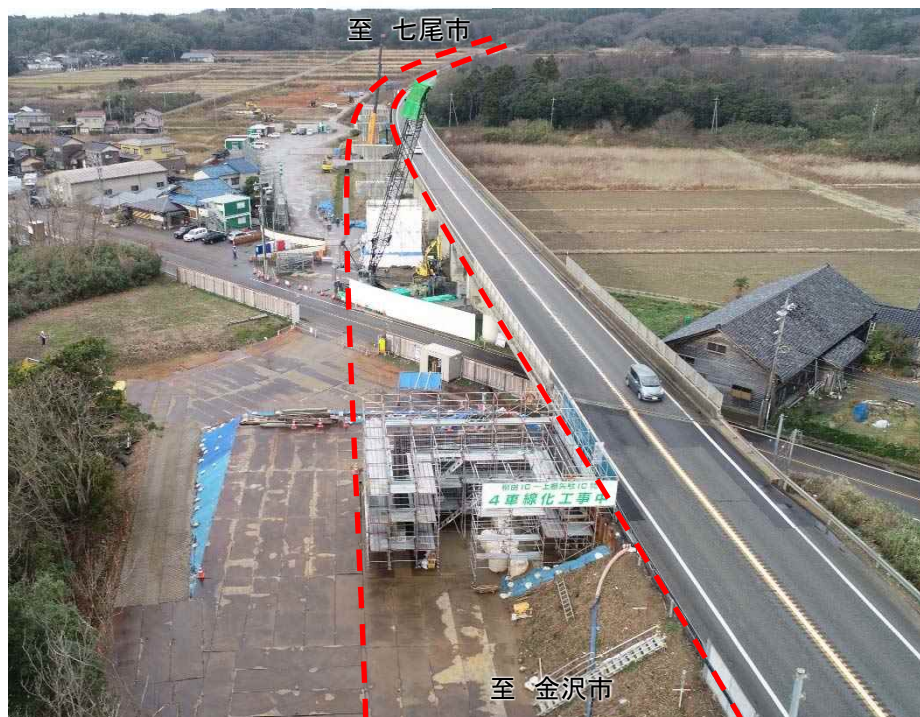
- ・交通混雑の緩和
- ・交通事故の減少
- ・広域交流の促進

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、主要地方道 ^{かなざわ たつるはま} 金沢田鶴浜線における改良工を実施し、早期完成に向けて事業を推進します。

位置図

(主) ^{かなざわ たつるはま} 金沢田鶴浜線



[ICアクセス]

(町)準幹4号線(仮称)白帆台IC事業の推進

いしかわ かほく うちなだまち
石川県河北郡内灘町

R1補正事業費
180百万円

事業の概要

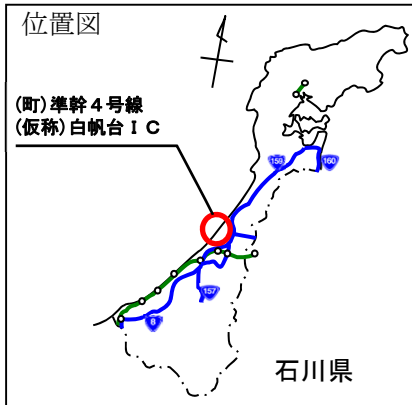
(町)準幹4号線は、金沢能登連絡道路(のと里山海道)の(仮称)白帆台ICへ接続する道路で、内灘町北部地区から金沢方面へのアクセス性の向上を図ることにより、北部地域の定住促進や災害時の避難経路拡大、既存施設の利用促進のほか、内灘町内の幹線道路における渋滞緩和、交通事故削減等を目的としたアクセス道路整備です。

整備効果

- ・内灘町北部地区から金沢方面へのアクセス性の向上
- ・内灘町北部地区の定住促進、災害時の避難経路拡大、既存施設の利用促進
- ・内灘町内の幹線道路における交通渋滞の緩和ならびに交通事故の低減

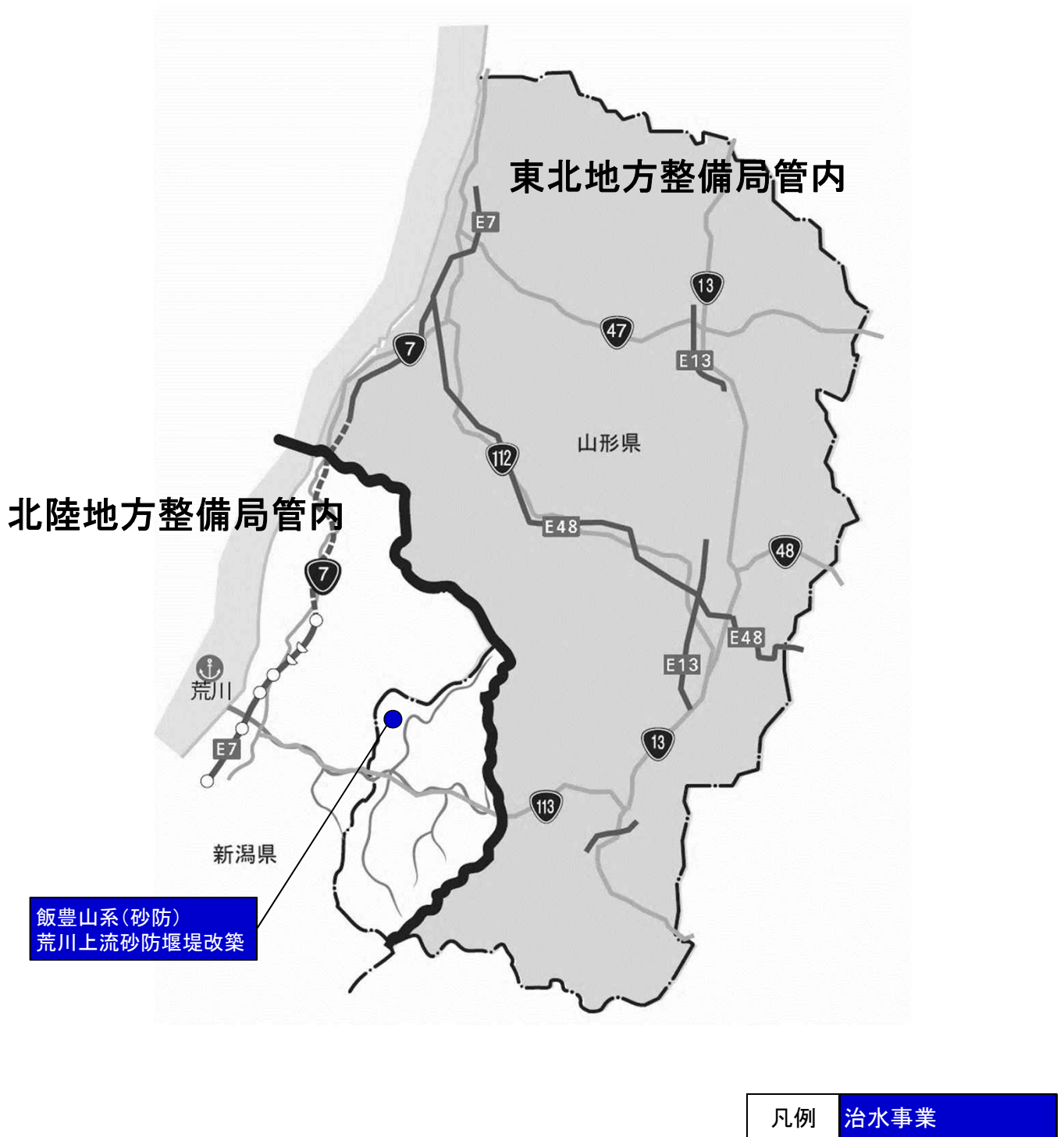
令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、町道準幹4号線(仮称)白帆台ICにおける改良工を実施し、早期完了に向けて事業を推進します。



施工状況

山形県内の主要事業



いいでさんけい
飯豊山系直轄砂防事業の推進
 やまがた にしおきたま おぐにまち あらかわ
山形県西置賜郡小国町（荒川上流砂防堰堤改築）

R1補正事業費
 184百万円

事業の概要

飯豊山系の荒川流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。このため、荒川上流砂防堰堤改築として、砂防堰堤としての機能を維持するだけでなく、効果量を増加させ砂防堰堤本体の機能を向上させる嵩上げや流木対策工も含めた改築工事を実施することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、荒川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、保全対象である山形県並びに下流域に在る新潟県内の沿川市町村における安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、砂防堰堤等の整備を推進します。

位置図



おおいざわ
 大石沢砂防堰堤 改築（腹付け）



さわなかざわ
 沢中沢砂防堰堤 改築（部材製作）



とくあみ
 徳網砂防堰堤 改築（腹付け及び嵩上げ）



あなぶち
 流木対策イメージ（穴渚砂防堰堤）

福島県内の主要事業



凡例 治水事業

あ が が わ はま さ き
阿賀川 浜崎 堤防浸透対策 の推進
 ふくしま かわぬま ゆがわむら
福島県河沼郡湯川村

R1補正事業費
 208百万円※1

※1:阿賀川河川改修事業のR1補正全体事業費

事業の概要

日橋川の堤防には主に昭和初期に築造されたものが多く、日橋川左岸全域にわたり漏水や浸透に対する安全性が確保されていない箇所が多数存在しています。

当該箇所は、堤防の浸透（漏水）に対する安全性が低いことから、大規模出水時に漏水による破堤・氾濫の危険があり、早急な対策が必要です。

このため、台風第19号等での被害を踏まえ、氾濫発生の危険性が高い区域等において、洪水対策として、堤防強化（浸透対策）を推進します。

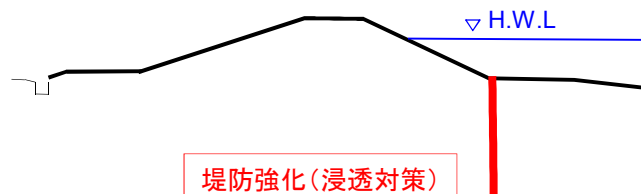
整備効果

堤防強化（浸透対策）を推進することで、阿賀川流域の治水安全度を向上させます。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、浜崎地区の堤防強化（浸透対策）を推進します。

標準横断面図



位置図



たきさか
滝坂地区直轄地すべり対策事業の推進
 ふくしま やま にしあいつまち
福島県耶麻郡西会津町

R1補正事業費
 215百万円

事業の概要

滝坂地区地すべりは、福島県西会津町の新潟県境近くに存在し、面積約150ha、深さ（高さ）約140mの地すべり土塊を有する国内最大級の地すべりであり、平成8年に直轄地すべり対策事業が開始されるまでは、年間約100cmを超える活発な地すべり活動が発生していました。

万が一、地すべりが活発化し地すべり土塊の活動により阿賀川に河道閉塞が形成されてしまうと、上流の西会津町や喜多方市では湛水による広域的な被害が発生し、下流沿川では河道閉塞の決壊により土砂・洪水氾濫が発生する危険性があります。

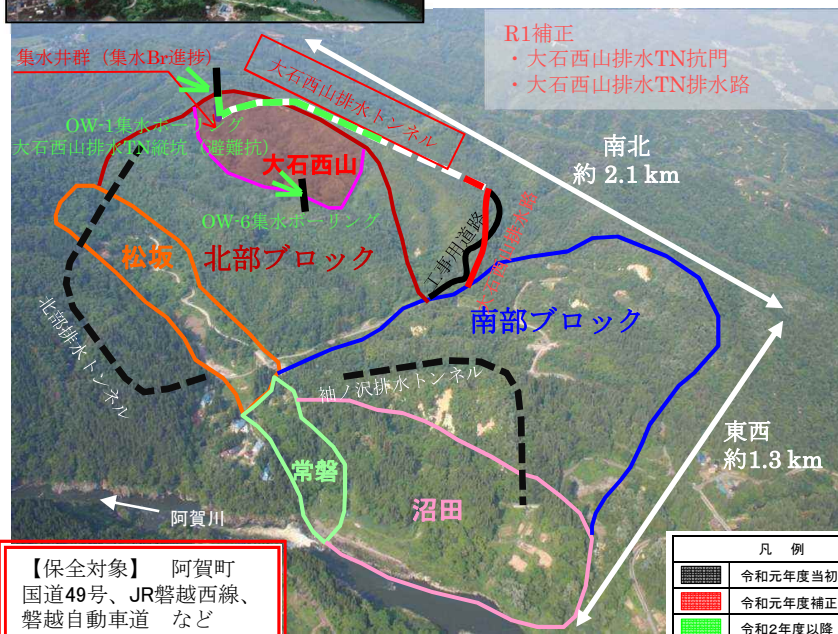
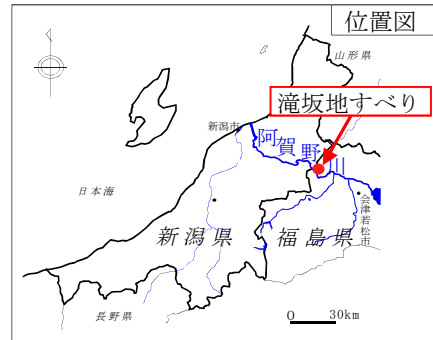
このような大災害の発生を防止するため、滝坂地区直轄地すべり対策事業では、集水井や排水トンネル等の各種地すべり対策工事の計画的な実施により地すべり活動を沈静化させることで、地すべりに起因する大規模な土砂流出を抑制します。

整備効果

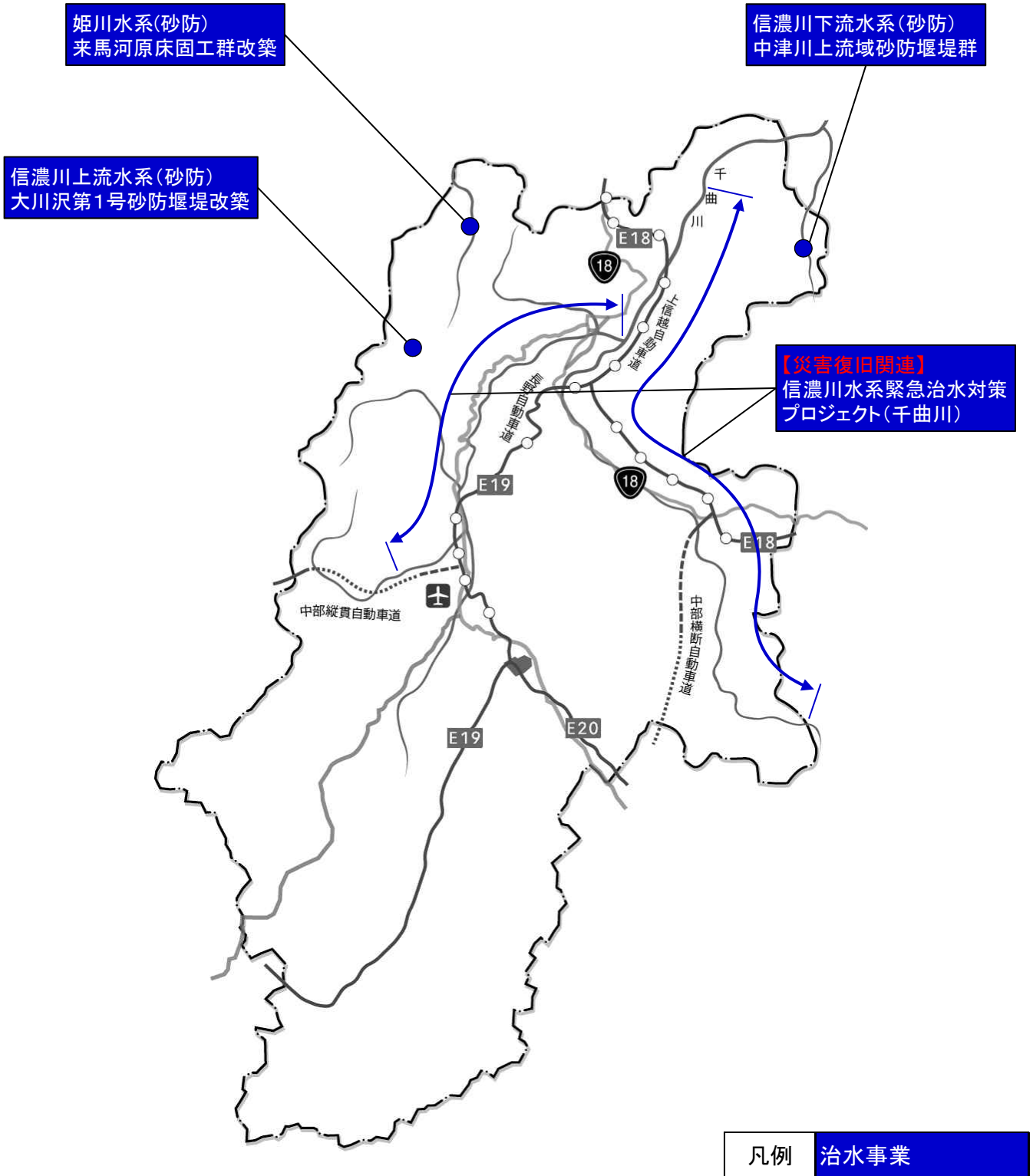
地すべり対策工の整備により、阿賀野川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象である福島県並びに下流域に在る新潟県内の沿川自治体における安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、地すべり対策工の整備を推進します。



長野県内の主要事業



しなのがわ

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)^{※1}の着手

ながの ながの
長野県長野市 他

R1補正事業費
14,001百万円^{※2}

^{※2}:千曲川及び犀川の河川等災害復旧費、
河川等大規模災害関連事業費のR1補正全体事業費

事業の概要

令和元年10月台風第19号豪雨水害では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、流域内の関係機関が連携して河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に進めるため、「信濃川水系緊急治水対策会議」で協議、調整を図り、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめました。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を実施し、概ね5年間で「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和元年度補正予算の事業内容

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトに着手します。

補正予算により、「河川における対策」の河道掘削を実施します。



※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」

▶ 詳細は右記にてご覧いただけます

http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinagogawakinkyutisuitaisaku/sinagogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

しなのがわ
信濃川上流水系直轄砂防事業の推進
ながの おおまち おおかわさわ
長野県大町市（大川沢第1号砂防堰堤改築）

R1補正事業費
105百万円

事業の概要

しなのがわ たかせがわ
信濃川上流水系の高瀬川上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

このため、おおかわさわ
大川沢第1号砂防堰堤改築として、砂防堰堤としての機能を維持するだけでなく、効果量を増加させ砂防堰堤本体の機能を向上させる嵩上げも含めた改築工事に新規着手することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、たかせがわ
高瀬川流域の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させることで、おおまち
大町市を始めとした保全対象の安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備に着手します。



S44災害の状況



下流域の保全対象（大町市等）



上流域の荒廃状況

しなのがわ
信濃川下流水系直轄砂防事業の推進
 ながの しもみのち さかえむら なかつがわ R1補正事業費
長野県下水内郡栄村（中津川上流域砂防堰堤改築） 100百万円

事業の概要

しなのがわ 中津川上流域には、なえばさん とりかぶとやま
 信濃川下流水系の中津川上流域には、苗場山や鳥甲山からの火山噴出物による脆弱な崩壊斜面が多数存在し、絶えず繰り返される浸食崩壊によって河床内に不安定な土砂が大量に堆積しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

このため、中津川上流域砂防堰堤改築では、砂防堰堤としての機能を維持するだけでなく、効果量を増加させ砂防堰堤本体の機能を向上させる嵩上げも含めた改築工事を実施することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

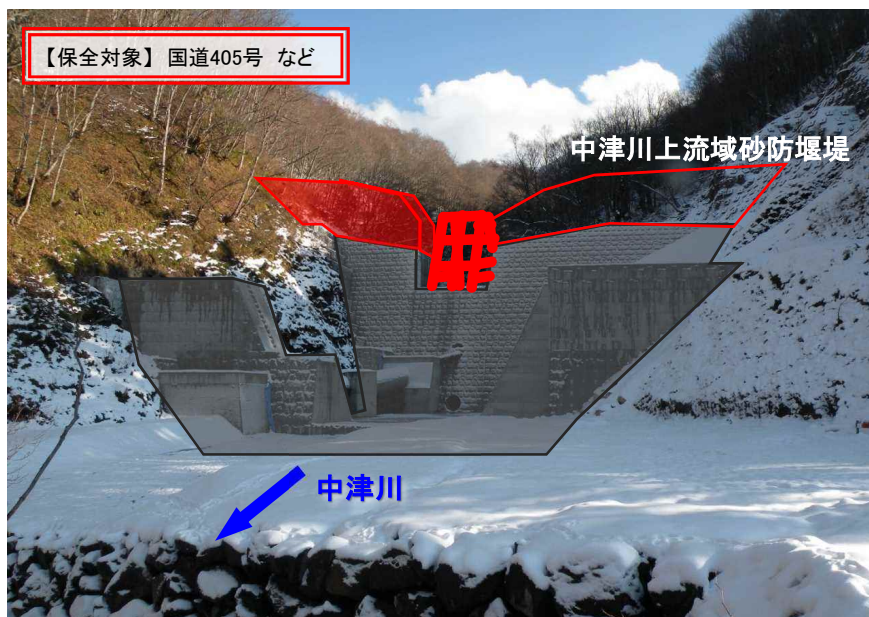
砂防堰堤工の整備により、しなのがわ 信濃川下流水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象であるながの 長野県並びに下流域に在るにいがた 新潟県内の沿川市町村における安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備を推進します。



既設砂防堰堤（小赤沢）の損傷状況



ひめかわ
姫川水系直轄砂防事業の推進
ながの おたりむら くるまがわら
長野県小谷村（来馬河原床固工群改築）

R1補正事業費
320百万円

事業の概要

ひめかわ
姫川水系の上流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や
流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

この中でも浦川上流域には、日本三大崩れの一つと言われる稗田山の大崩壊地が存在しており、
出水時には流下エネルギーの大きい土砂流出が頻発する傾向にあるため、砂防設備の摩耗・損傷が
著しく進行しています。

このため、くるまがわら
来馬河原床固工群改築では、砂防設備としての機能を維持するために、ひめかわ
姫川本川と
浦川の合流点直下に位置する既存の床固工群について改築工事を実施することで、下流域の沿川で
土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂の再流出（二次移動）を抑制します。

整備効果

ひめかわ
床固工の整備により、姫川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象
であるながの
長野県並びににいがた
新潟県内の沿川市町村における安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、床固工の整備を推進します。



上流域の荒廃状況(稗田山崩壊地)



位置図

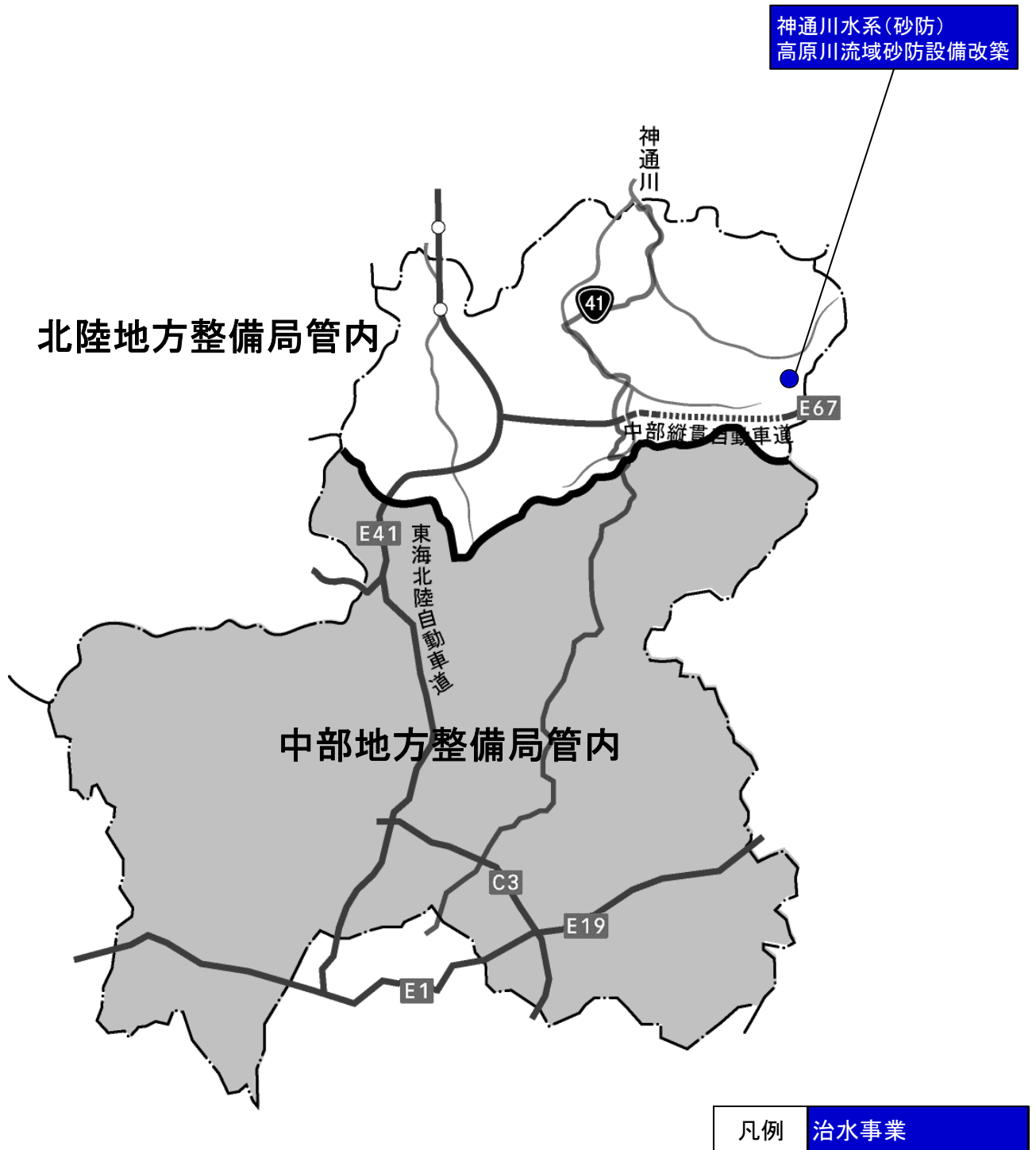
来馬河原床固工群改築



既存設備(床固工)の損傷状況

【保全対象】
小谷村、保全人家、
国道148号、JR大系線 など

岐阜県内の主要事業



じんづうがわ
神通川水系直轄砂防事業の推進
ぎふ たかやま たかはらがわ
岐阜県高山市（高原川流域砂防設備改築）

R1補正事業費
270百万円

事業の概要

じんづうがわ たかはらがわ
神通川水系の高原川流域には、荒廃が著しい溪流や崩壊した斜面が多数存在し、河床内に不安定な土砂や流木が大量に堆積・残存しているため、土砂・洪水氾濫による災害発生の危険性が高まっています。

このため、高原川流域砂防設備改築では、砂防堰堤としての機能を維持するだけでなく、効果量を増加させ砂防堰堤本体の機能を向上させる嵩上げも含めた改築工事を実施することで、下流域の沿川で土砂・洪水氾濫を発生させる原因となり得る有害な土砂流出を抑制します。

整備効果

砂防堰堤工の整備により、じんづうがわ
神通川水系全体の土砂・洪水氾濫に対する治水安全度を向上させ、保全対象であるぎふ たかやま
岐阜県並びに下流域に在る富山県内の沿川市町村における安全と安心を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

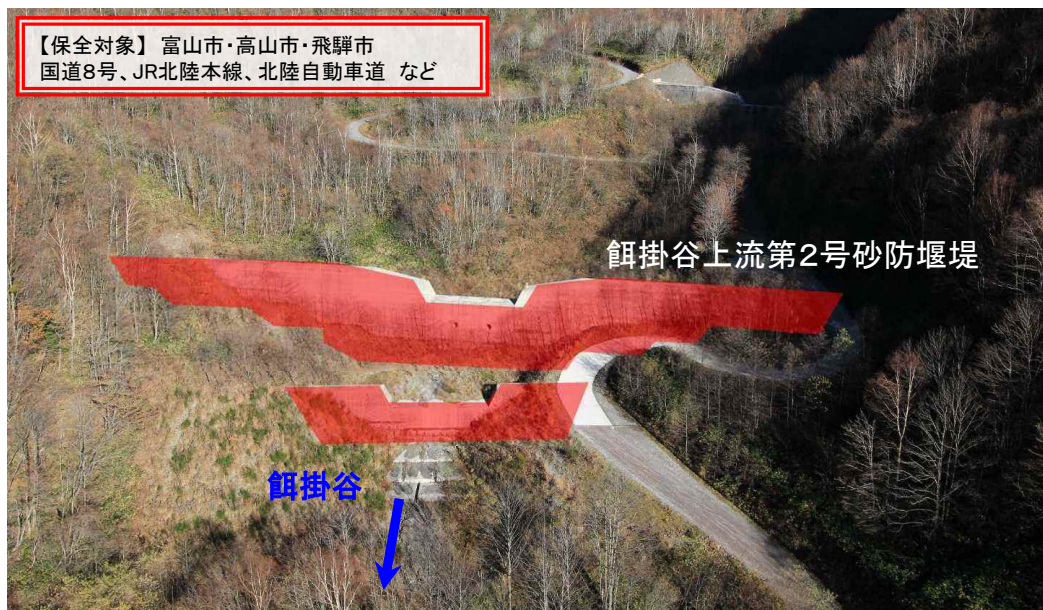
補正予算の充当により、砂防堰堤工の整備を推進します。



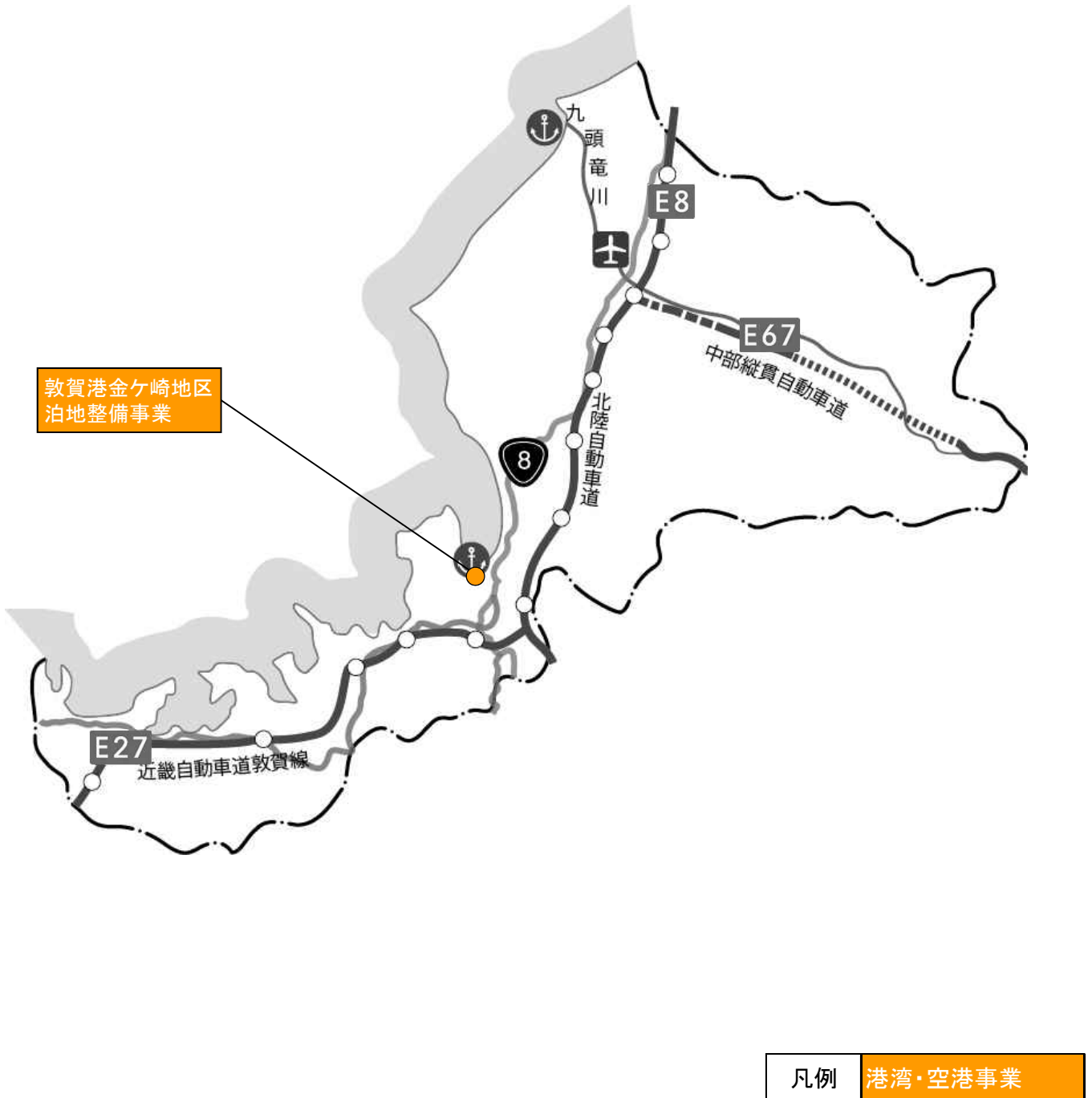
S54 洞谷土石流災害



H18 柳谷土石流



福井県内の主要事業



つるが かねがさき
敦賀港 金ヶ崎地区
泊地整備事業の実施

ふくい つるが
福井県敦賀市

R1補正事業費
260百万円

事業の概要

つるが かねがさき
敦賀港金ヶ崎地区の泊地(水深10m)は、供用開始から20年以上が経過し、港内に土砂が堆積していることから、泊地の整備を実施します。

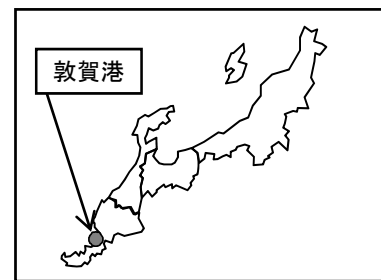
整備効果

泊地の水深が確保され、船舶が安全に利用できるようになります。

令和元年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、泊地の整備を実施します。

【位置図】



その他の主要事業

洪水等により被害を受けた河川管理施設の補修等 北陸地方整備局管内

事業の概要

令和元年10月の台風第19号出水をはじめ、今年度に発生した台風や豪雨等により、河川内に堆積した土砂・塵芥の除去や被害を受けた河川管理施設の補修等を実施します。

整備効果

これらの除去や補修等を行うことで、河川管理施設の必要な機能を回復させ、洪水時の安全性を確保します。

令和元年度補正予算の事業内容

これまでの出水において堆積した土砂・塵芥の除去や河川管理施設の補修等を実施します。

①堆積土砂・塵芥の除去



施設周辺に堆積した土砂や流木等塵芥を除去し、施設の機能を回復する

②護岸補修



出水により破損した護岸等施設を補修し、機能を回復する

③備蓄資材の確保



出水時の復旧に使用した備蓄資材を補填し、次期出水に備える

河川情報の充実に向けた整備の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

平成30年7月豪雨や令和元年10月の台風第19号では、河川の氾濫等により、各地で甚大な被害が発生しました。国土交通省では、簡易型河川監視カメラの設置など、河川情報の充実を図る取組を進めており、引き続き、防災情報の迅速かつ的確な把握と、分かりやすい情報提供を目指した整備を推進します。

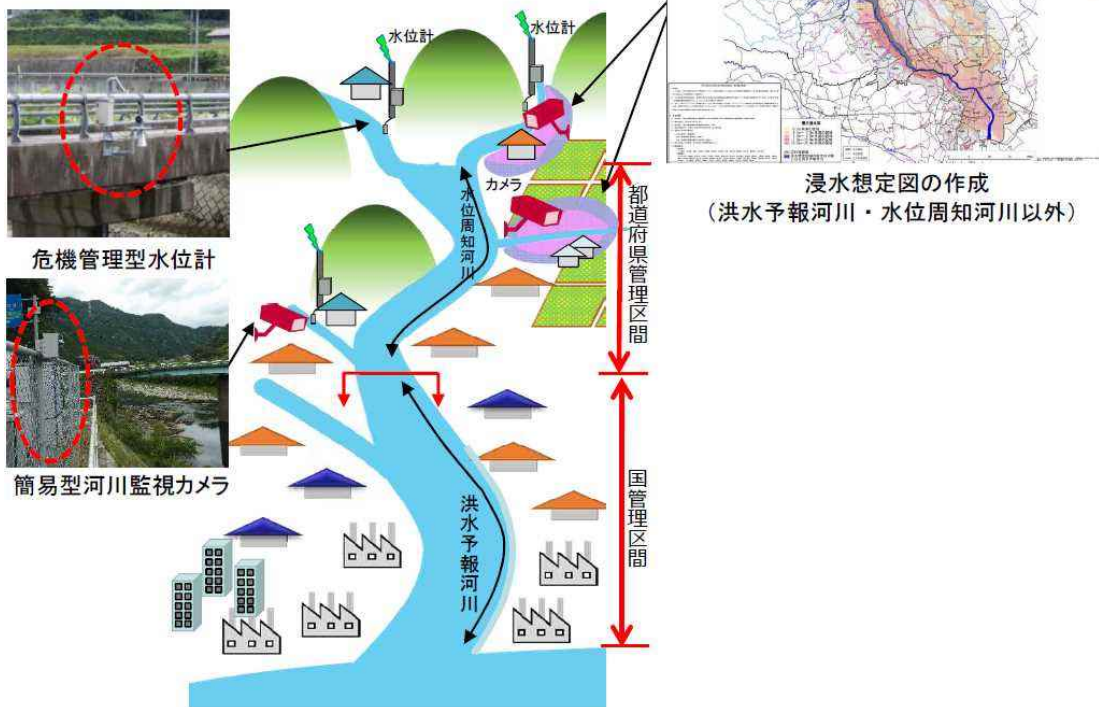
整備効果

河川情報を充実させることにより、地域住民の円滑な避難行動の促進を図ります。

令和元年度補正予算の事業内容

北陸地方整備局管内において、簡易型河川監視カメラや危機管理型水位計の設置を推進するとともに、浸水想定図の整備を推進します。

●空白地帯のない水害リスク情報の提供



河川情報の充実に向けた整備イメージ

排水作業の効率化に向けた整備の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

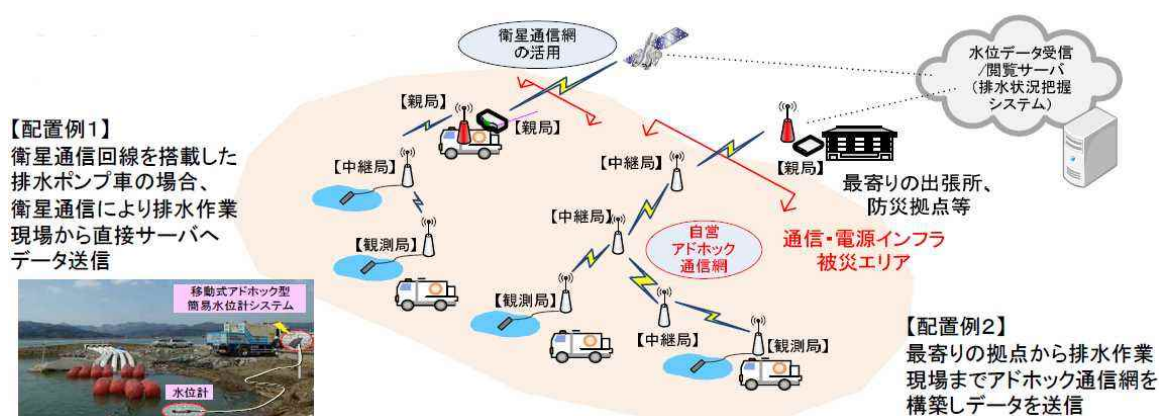
令和元年10月の台風第19号では、各地で大規模かつ広域的な浸水被害が発生し、浸水範囲の把握に時間を要するとともに、排水ポンプ車による排水作業にも多くの日数を要しました。そこで、浸水域における迅速な排水活動を実施するため、移動式アドホック型簡易水位計を配備し、排水作業の効率化を図ります。

整備効果

移動式アドホック型簡易水位計による遠隔状況監視により、現場作業の安全性向上と効率的な排水計画の遂行を推進します。

令和元年度補正予算の事業内容

北陸地方整備局管内において、移動式アドホック型簡易水位計を配備します。



移動式アドホック型簡易水位計の配備イメージ



遠隔状況監視による現場作業の安全性向上

土砂災害リスク情報の充実にに向けた整備の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

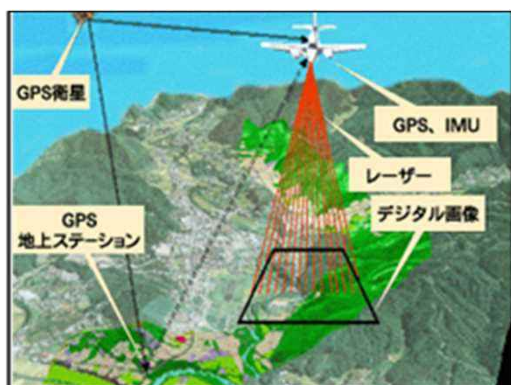
令和元年10月の台風第19号では、土砂災害等により各地で甚大な被害が発生しました。そのため、土砂災害リスク情報の充実を図る取組として航空レーザ測量データの取得を推進します。

整備効果

高精度地形情報の取得により、河道閉塞決壊時の下流区間への影響範囲を推定し、大規模土砂災害発生時の初動対応の迅速化を図ります。

令和元年度補正予算の事業内容

北陸地方整備局管内において、航空レーザ測量データの取得を実施します。

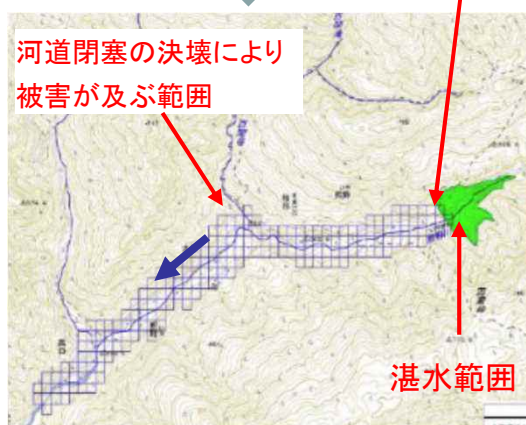


航空レーザ計測のイメージ



高精度地形情報

河道閉塞



土砂流出影響範囲の推定(イメージ)

道路の老朽化対策の推進

北陸地方整備局

事業の概要

道路の老朽化対策

老朽化により損傷が進行している橋梁・トンネル等の道路構造物について、補修を前倒して実施することで、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークの確保を図ります。

令和元年度補正予算の事業内容

道路の老朽化対策

< 橋 梁 >



(支承の損傷)



(補修：支承の更新)

< 洞 門 >



(鋼部材の腐食及び塗装劣化)



(補修：塗装塗替)

未就学児等の交通安全緊急対策の推進

北陸地方整備局

事業の概要

未就学児等の交通安全緊急対策

「未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検」の結果等を踏まえた交通安全対策を実施します。

令和元年度補正予算の事業内容

未就学児等の交通安全緊急対策

< 緊急安全点検の実施 >



(点検の実施状況)

< 点検結果を踏まえた交通安全対策の実施 >



(現状)



(対策イメージ：防護柵の設置)

道の駅の防災機能向上の推進

北陸地方整備局

事業の概要

道の駅の防災機能向上

豪雨等の自然災害に対する安全・安心を確保するため、道の駅において貯水タンク・防災トイレ等を整備をします。

令和元年度補正予算の事業内容

道の駅の防災機能向上



(整備例 : 貯水タンク)



(整備例 : 防災トイレ)

洪水被害の軽減・復旧迅速化に向けた整備の推進

北陸地方整備局管内

事業の概要

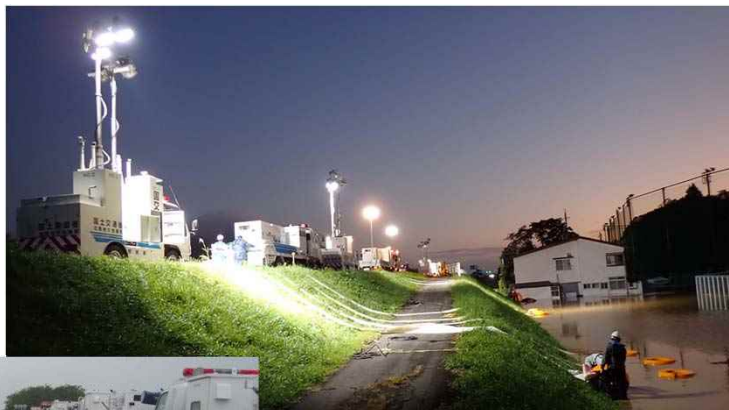
令和元年10月の台風第19号では、各地で大規模かつ広域的な浸水被害が発生し、排水ポンプ車による排水作業に多くの日数を要し、また排水後の道路上には大量の土砂が堆積するなど迅速な復旧活動の支障となっていました。そこで、浸水域における洪水被害の軽減、堆積土砂の迅速な撤去を図るため、排水ポンプ車や照明車、路面清掃車、散水車を追加配備します。

整備効果

排水ポンプ車や照明車、路面清掃車、散水車を追加配備することにより、洪水被害の軽減・迅速な土砂撤去を行います。

令和元年度補正予算の事業内容

北陸地方整備局管内において、排水ポンプ車や照明車、路面清掃車、散水車の追加配備を推進します。



排水ポンプ車・照明車による復旧活動状況



路面清掃車による堆積土砂撤去状況